

伝統文化概論Ⅱ

科目ナンバリング JLT-104
必修 2単位

コルネーエウァスヴェトラナ

1. 授業の概要(ねらい)

前期の講義に引き続き、日本の伝統的な文化を構成している諸要素を具体的に取り上げ、現代における伝統(古典)文化の位置づけと役割を考える。後期は芸能と茶の湯を中心に伝統文化のあり方を考察していく。伝統文化と伝統社会を見つめ直すことで、これからの日本の社会を考えるうえでのヒントを探る。できる限り映像資料を活用し、理解を助ける。授業形態は講義を中心としているが、受講生が関心をもつテーマについては授業中、短時間のグループワークもしくはペアワークを行う予定である。

テーマによっては、その分野に精通している専門家を外部講師としてお招きすることを予定している(詳細は講義中に案内する)。

なお、講義内容は必要に応じて変更することがある。

2. 授業の到達目標

- ・伝統文化に関する知識を理解できる。
- ・日本文化の思想に関する知識を理解できる。
- ・現代社会における文化伝統の継承と発展について、自らの考えを表現することができる。
- ・伝統文化に関する知識を他者に説明できる。
- ・現代における伝統的な文化の位置と意義について、自らの考えをまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

小テスト(50%)と最終レポート(50%)によって評価します。

小テストはLMSなどを用いて行い、授業に関する問題を出題します。

最終レポートは「①題意理解 ②論理構成、考察力 ③表現、文字の正確さ ④知識理解 ⑤遵守」の5項目をルーブリックにより評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定の教科書を使用せず、教員がプリントを用意し配布する。

参考文献は講義中に随時紹介する。

5. 準備学修の内容

授業外学習用にLMSで公開される補足資料やウェブサイトを目を通し、発展的に学習する。

授業で配付されたレジュメや紹介された参考文献に目をおし、次回の授業時まで疑問点を質問できるようにしておく。

6. その他履修上の注意事項

継続的・積極的な受講を期待する。

第5回～第15回の授業の内、1回分の授業をLMSにて行う予定である。どの回がLMS上になるかについては早めに周知するので、LMSの連絡事項などを定期的にチェックすること。

7. 授業内容

- 【第1回】 講義の概要 前期の復習
- 【第2回】 文化の「型」と「道」
- 【第3回】 伝統芸能の成立と変遷(能・狂言、文楽)
- 【第4回】 伝統芸能の成立と変遷(中央歌舞伎)
- 【第5回】 農村歌舞伎
- 【第6回】 茶道の歴史
- 【第7回】 茶人
- 【第8回】 茶道の作法、茶会
- 【第9回】 茶菓子
- 【第10回】 茶道に関連する映像の鑑賞
- 【第11回】 香道
- 【第12回】 *LMSでのオンライン授業;掲載時期については授業内で告知する
- 【第13回】 伝統工芸(1)
- 【第14回】 伝統工芸(2)
- 【第15回】 総まとめ